

理工学部三浦正志准教授「第28回 独創性を拓く 先端技術大賞」において「フジサンケイアイビジネス賞」を受賞

理工学部三浦正志准教授は、フジサンケイビジネスアイ「第28回 独創性を拓く 先端技術賞」において、「企業・産業部門」の「フジサンケイアイビジネス賞」を受賞しました。この内容は、フジサンケイビジネスアイ、産経新聞、サンケイエクスプレスに掲載されました。

「独創性を拓く先端技術大賞」は、「科学技術創造立国」の実現に向け、優れた研究開発成果をあげた全国の理工系学生と企業の若手研究者、技術者を表彰する制度です。

授賞式は、7月31日に東京・元赤坂の明治記念館で開催されます。

掲載ページはこちら↓

http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20140612-00000101-san-bus_all

受賞内容は次のとおりです。

1. 業績名

ナノ組織制御による人工欠陥導入次世代超電導線材の開発

2. 受賞者

三浦正志 (成蹊大学)

吉積正晃、和泉輝郎、塩原融 (超電導工学研究所)

木村一成、小泉 勉 (昭和電線ケーブルシステム(株))

3. 技術概要

三浦正志准教授らは、液体窒素温度下で電気抵抗がゼロとなる超伝導線材の研究開発を行っている。今回の受賞は、成蹊大学が基礎研究、超電導工学研究所が線材化に向けた研究開発、そして昭和電線ケーブルシステム(株)が製品化に向けた長尺線材作製を行った産学官の成果が高く評価されました。